



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社

コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	25,586	△29.7	△841	-	△14	-	△1,329	-
2020年3月期第1四半期	36,370	△5.7	1,889	△27.9	2,321	△32.6	1,244	△41.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 24百万円 (-%) 2020年3月期第1四半期 △298百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△27.08	-
2020年3月期第1四半期	25.35	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	167,857	80,611	43.6	1,491.47
2020年3月期	166,800	82,019	44.9	1,524.62

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 73,207百万円 2020年3月期 74,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	25.00	-	25.00	50.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	25.00	-	25.00	50.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

2. 配当予想の詳細については、本日（2020年8月4日）公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	57,000	△21.2	△2,400	-	△1,300	-	△3,000	-	△61.12
通期	123,400	△13.2	△1,800	-	0	-	△3,400	-	△69.27

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

2. 業績予想の詳細については、本日（2020年8月4日）公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 有

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	49,757,821株	2020年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	673,303株	2020年3月期	673,253株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	49,084,521株	2020年3月期1Q	49,085,341株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大にともない各国が感染防止の対策を講じた結果、経済活動が制限され、急速な景気悪化の状態となりました。

このような事業環境のもと、当社事業においては特に自動車・建設機械業界向け事業での販売不振の影響を受けました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は255億86百万円(前年同期比29.7%減)、営業損失は8億41百万円(前年同期は営業利益18億89百万円)、経常損失は14百万円(前年同期は経常利益23億21百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は13億29百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益12億44百万円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、自動車産業の操業縮小・停止が続き、回復も鈍いことから世界の自動車生産台数が急減し、自動車向け製品がその影響を広く受けたことにより、当セグメントの売上高は127億55百万円(前年同期比43.2%減)、営業損失は19億29百万円(前年同期は営業利益7億38百万円)となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、顧客の操業縮小・停止等の影響により、インドをはじめ日本、アジアパシフィック全地域の販売が減少したことにより、当セグメントの売上高は64億57百万円(前年同期比23.4%減)、営業利益は5億56百万円(前年同期比48.0%減)となりました。

[半導体業界向け事業]

当事業は、5G、データセンター向け投資などが堅調であったことにより、当セグメントの売上高は20億78百万円(前年同期比28.7%増)、営業損失は42百万円(前年同期は営業損失2億34百万円)となりました。

[船用業界向け事業]

当事業は、過去の新造船受注分が順調に出荷されたことに加え、修繕部品需要も増加したことにより、当セグメントの売上高は27億44百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は5億14百万円(前年同期比150.6%増)となりました。

[航空宇宙業界向け事業]

当事業は、衛星向け輸入品の販売増加が寄与し、当セグメントの売上高は15億50百万円(前年同期比28.4%増)となりました。営業利益はプロダクトミックス等により53百万円(前年同期比46.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第1四半期連結会計期間末の資産は1,678億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億57百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金が62億29百万円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が38億26百万円、その他流動資産が13億10百万円減少したことによるものであります。

[負債]

当第1四半期連結会計期間末の負債は872億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億65百万円増加いたしました。これは主として短期借入金が91億11百万円増加した一方、長期借入金が25億91百万円、買掛金が26億97百万円、賞与引当金が9億17百万円減少したことによるものであります。

[純資産]

当第1四半期連結会計期間末の純資産は806億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億7百万円減少いたしました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと及び剰余金の配当等により利益剰余金が26億32百万円減少した一方、為替換算調整勘定が7億83百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしました。詳細につきましては、本日(2020年8月4日)公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,438	27,668
受取手形及び売掛金	27,152	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	23,325
電子記録債権	3,092	3,253
商品及び製品	7,075	8,406
仕掛品	5,794	6,192
原材料及び貯蔵品	9,699	10,107
その他	6,419	5,109
貸倒引当金	△103	△274
流動資産合計	80,567	83,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,666	23,520
機械装置及び運搬具(純額)	24,755	24,542
その他(純額)	13,512	13,312
有形固定資産合計	61,934	61,375
無形固定資産		
のれん	2,167	2,029
その他	2,467	2,291
無形固定資産合計	4,635	4,320
投資その他の資産		
投資有価証券	11,365	10,948
その他	8,405	7,531
貸倒引当金	△108	△108
投資その他の資産合計	19,663	18,372
固定資産合計	86,232	84,068
資産合計	166,800	167,857

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,503	4,805
電子記録債務	3,031	2,611
短期借入金	14,442	23,553
未払法人税等	1,207	702
賞与引当金	2,603	1,685
その他の引当金	1,025	989
その他	11,395	12,192
流動負債合計	41,208	46,540
固定負債		
長期借入金	22,690	20,098
引当金	307	310
退職給付に係る負債	18,890	18,843
その他	1,684	1,452
固定負債合計	43,572	40,704
負債合計	84,780	87,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,310	11,310
利益剰余金	66,745	64,112
自己株式	△225	△225
株主資本合計	88,320	85,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	292	343
為替換算調整勘定	△8,095	△7,311
退職給付に係る調整累計額	△5,682	△5,512
その他の包括利益累計額合計	△13,485	△12,480
非支配株主持分	7,184	7,403
純資産合計	82,019	80,611
負債純資産合計	166,800	167,857

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	36,370	25,586
売上原価	28,249	20,665
売上総利益	8,121	4,921
販売費及び一般管理費	6,231	5,762
営業利益又は営業損失(△)	1,889	△841
営業外収益		
受取利息	53	85
受取配当金	11	8
持分法による投資利益	651	719
為替差益	—	58
その他	178	246
営業外収益合計	895	1,117
営業外費用		
支払利息	105	99
為替差損	294	—
寄付金	0	0
操業休止費用	—	130
その他	63	60
営業外費用合計	463	290
経常利益又は経常損失(△)	2,321	△14
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産売却損	8	0
固定資産除却損	50	3
特別損失合計	59	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,265	△17
法人税等	634	956
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,630	△974
非支配株主に帰属する四半期純利益	386	354
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,244	△1,329

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,630	△974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	51
為替換算調整勘定	△1,565	641
退職給付に係る調整額	165	179
持分法適用会社に対する持分相当額	△489	127
その他の包括利益合計	△1,929	998
四半期包括利益	△298	24
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△527	△323
非支配株主に係る四半期包括利益	229	348

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来出荷時に収益を認識しておりました販売の一部について、検収時に収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高が51百万円減少し、売上原価は13百万円減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失がそれぞれ37百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は76百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が2021年3月期末まで継続するものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性を見直しました。この結果、繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額838百万円を計上しております。なお、法人税等調整額は、四半期連結損益計算書の法人税等を含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	22,464	8,431	1,615	2,653	1,207	36,370	—	36,370
セグメント間の内部売上高 又は振替高	37	28	—	1	—	68	△68	—
計	22,501	8,460	1,615	2,654	1,207	36,439	△68	36,370
セグメント利益又は損失（△）	738	1,070	△234	205	100	1,880	8	1,889

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額8百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

- II 当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	12,755	6,457	2,078	2,744	1,550	25,586	—	25,586
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	38	—	1	—	62	△62	—
計	12,778	6,496	2,078	2,745	1,550	25,648	△62	25,586
セグメント利益又は損失（△）	△1,929	556	△42	514	53	△846	4	△841

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額4百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。